

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	鍵穴に鍵をささないことで、鍵を掛けてしまうことがなくなり、地域の方や訪問者がいつでも訪ねて来やすいよう、また利用者も自由に戸外に出れるよう、鍵を掛けずに開放的で自由な暮らしの支援。	鍵穴に鍵をささないようにして、訪問者や利用者に自由に戸外に出入りができるようにする。	訪問者の方には、自由に出入りができるように説明をする。また、利用者とスタッフと一緒に出入りをして、理解して頂けるように努める。	6ヶ月
2	49	屋内の生活はストレスが溜まりやすくなるため、短時間でも外出の機会をもち、気分転換やストレスを発散し、五感を刺激することで、利用者の意欲を引き出す。	利用者のストレスの緩和と五感を刺激する。	まずは、利用者とスタッフと一緒にウッドデッキへでるようにする。また利用者同士が誘い合わせて戸外へ出られるように努める。	12ヶ月
3	4	運営推進委員会は地域との関わりを深める為にも定期的に開催し、ホームからの報告、情報交換、また参加者からの意見をもらい、それらをサービス向上に繋げる。	定期的に運営推進委員会を開催し、情報交換をする。	2～3ヶ月に1度の割合で運営推進委員会を開催し、情報交換するように努める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。